

アフガニスタン・中村哲医師と 広島・長崎の原爆を語り継ぐ いのちと平和の写真展

入場無料



世界各地で今も武力による争いが続き、人々は恐怖と貧困の中に置かれています。

アフガニスタンで医療支援や農業水路建設を進めていた中村哲医師は2019年に銃撃され死去しました。畑を復活させて平和な生活を取り戻したいとの思いは、今も現地で引き継がれています。

1945年、広島と長崎で原子



爆弾が投下され、何万人もの命が瞬時に奪われ、街が焼き尽くされました。核兵器による悲惨な過ちを繰り返してはなりません。

人々が幸せに暮らしていくためには、いのちと平和を大切にする社会が必要です。



日時 7月2日（金）～4日（日）午前9時～午後6時

（4日は午後4時まで）

場所 「ヒロロ」（弘前駅前）3階 イベントスペース

*コロナ感染防止のため、手の消毒やマスク着用のうえでご来場ください。

主催 いのちと平和の写真展実行委員会

協賛展示／ ペシャワール会を応援する青森の会 原水爆禁止弘前市民会議
問合せは佐伯（電話 0172-36-4707）へ